第２５回全日本少年少女空手道選手権大会実施要項

公益財団法人　全日本空手道連盟

１　大 会 名　　第２５回全日本少年少女空手道選手権大会

２　主　　催　　公益財団法人　全日本空手道連盟

３　後　　援　　スポーツ庁　（公財）日本オリンピック委員会　（公財）日本スポーツ協会
（予定）　東京都　（公財）日本武道館　日本武道協議会　ＮＨＫ

４　場　　所　　東京武道館
住 所：〒１２０－０００５ 東京都足立区綾瀬３－２０－１
電話番号：０３－５６９７－２１１１
交 通：東京メトロ千代田線・ＪＲ常磐線 綾瀬駅東口下車
（東綾瀬公園内を通り抜け徒歩５分）

５　期　　間　　令和７年８月２１日(木)～８月２４日(日)
①８月２１日(木) １・４年生形競技・組手競技
②８月２２日(金) ２・５年生形競技・組手競技
③８月２３日(土) ６年生形競技・組手競技
④８月２４日(日) ３年生形競技・組手競技

６　種　　目　　小学１年生から６年生の男子・女子、形競技個人戦及び組手競技個人戦

７　参加出場枠　各都道府県空手道連盟から各種目４名選出できるものとする。
（１）同一選手が形競技と組手競技の両方に出場することは認めない。
（２）前年度大会の優勝者、準優勝者、第３位（２名）の計４名に当該種目の出場権及びシード権を与える。
(ア) 出場権及びシード権を持つ選手が異なる種目に出場する場合、出場権及びシード権の繰り上げは行わない。
(イ) 出場権及びシード権を持つ選手が異なる種目に出場する場合、または前年度と異なる都道府県から出場する場合、その選手は出場権及びシード権を失う。
(ウ) 出場権及びシード権を持つ選手の出場申込は、所属の都道府県空手道連盟を通じて行う。なお出場費はほかの選手と同様とする。
(エ) 前年度大会の準決勝戦において、優勝選手に負けた選手を第３シード、準優勝選手に負けた選手を第４シードとする。

８　競技規定　公益財団法人全日本空手道連盟競技規定（2023 年 4 月 1 日初版、新ルール）
並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

９　競技方法　（１）形競技個人戦
①トーナメント方式で行い、３位決定戦は行わない。
②１回戦から準々決勝戦まではフラッグ方式、準決勝戦から決勝戦は得点方式により実施する。
③１回戦から準々決勝戦までは２名同時演武、準決勝戦からは１名ずつの演武とする。
④形の指定

(ア)１回戦から準々決勝戦までは全空連基本形とする。同じ形を繰り返し演武することができる
(イ)準決勝戦は予選で演武していない基本形・第１指定形・第２指定形から選択する。
(ウ)決勝戦は（ア）（イ）で演武していない基本形または指定形を選択する。

⑤ 同点の場合は以下の順番の解決方法により、勝敗を決定する。なお、再演武の形は、本戦で使用した形以外の形とする。但し、再演武で使用した形は、本戦で使用していない形であれば繰り返し演武することが可能である。

【同点の解決方法】

① 有効点のうち最低点の高い者
② 有効点のうち最高点の高い者
③ 再演武

（2）組手競技

① トーナメント方式で行い、３位決定戦は行わない。
② 競技時間は１分３０秒フルタイムとする。
③ 勝敗は、競技時間内に６ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとし、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。
④ 競技終了時に同点で先取のない場合は、１本の多い選手を勝ちとし、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。
⑤ 上記④でも決しない場合においては、当該審判団の判定により勝敗を決定する。
⑥ ビデオレビュー、プロテストは採用しない。

（3）組手安全具は（公財）全日本空手道連盟承認の承認品を使用すること。

① 小学生用拳サポーター（赤・青リバーシブル）、メンホーⅦ、
ボディプロテクター、インステップ・シンガード（白色）を装着すること。
② 小学３年生以上の男子選手は、セーフティカップを装着する。
（１・２年生は所属の指導者・監督、コーチの判断に委ねる）

※これら安全具は選手各自において用意すること。
※安全具に不備のある選手は出場することができない。

（4）選手の服装について（別紙参照）

① 空手着メーカーについては指定しない。
② 空手着の紐は必ず結ぶこと。
③ 左胸に都道府県名を入れる。
④ 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。
⑤ 交付される全少ワッペンを左肩口に必ず縫い付けること。
⑥ 赤・青帯は（公財）全日本空手道連盟で検定された帯を各自で用意し、着用すること。

（5）都道府県監督・コーチ・パーソナルコーチについて

① 都道府県監督は１名とし、コーチは４名まで登録することができる。
※都合により 4 日間を通して 4 名以上のコーチ登録が必要な場合は、資格条件を満たす場合のみ登録することができる。但し、コーチ IDは最大４枚しか発行しないため、一度に入館できるコーチの数は 4 名までとする。
② パーソナルコーチは登録選手と同期し、他の選手のコーチはできない。
③ 監督・コーチ・パーソナルコーチは常にＩＤカードを携帯する。
④ 監督・コーチ・パーソナルコーチの服装は以下の通りとする。
・ダークスーツを着用すること。
・監督・コーチは、全空連指定ネクタイ（紺色）を着用すること。

・パーソナルコーチは指定品以外の地味目な色のネクタイを着用することを可とする。（全空連指定ネクタイ【紺色】が望ましい）
・女性はスラックス、スカートでもよく、ネクタイを着用しなくてもよい。
・シューズはフロアを傷つけないものとし、派手な色合いは禁止とする。（サンダル不可）
・全空連エンブレムの着用は不可とする。

10 表　彰　（1）文部科学大臣旗の授与について

男女別に総合得点最上位の都道府県に対し、文部科学大臣旗・同大臣賞状をそれぞれ授与する。得点及び順位決定は次による。
(1) 国民スポーツ大会方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。
① 形競技　1位８点、2位７点、3位５点（2名）5位2.5点(4名)
② 組手競技1位８点、2位７点、3位５点（2名）5位2.5点(4名)

（2）形競技・組手競技上位８名を表彰する。
※表彰式への参加は対象選手、監督、コーチ、パーソナルコーチとし、その他関係者の参加は認めない。

11 審 判 員　大会審判団は、公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員により編成する。
（1）各都道府県が推薦した全国組手審判員及び地区形審判員以上の資格を有する審判員を大会審判員として委嘱する。
※各都道府県は上記資格を有する審判員を最低２名以上推薦すること。
（2）大会審判員に不足が生じた場合、関東地区協議会の審判員から委嘱する。

12 監督会議　事前にオンラインにて実施する。
日　時：令和７年８月５日(火)　１９：００～２０：００
方　法：ZOOM によるオンライン開催とし、後日リンクを事務局に共有する。
内　容：全少大会、パラ競技大会の順に説明する。

13 安全管理　（1）選手は、各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
（2）主催者において、参加選手全員に傷害保険を付保する。
（3）出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
（4）選手は、必ず健康保険証を携行すること。

14 参加資格　（1）出場選手・監督・コーチは、（公財）全日本空手道連盟会員であること。
（2）監督及びコーチは、（公財）日本スポーツ協会公認空手道コーチ１以上、または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。
（3）パーソナルコーチの登録において資格の条件を求めないが、(公財) 全日本空手道連盟会員登録を必須とする。
（4）パーソナルコーチの登録において（2）の資格保有者はパーソナルコーチA登録とし、都道府県監督・コーチ同様にコーチ席に入ることができる。　また資格を保有しないパーソナルコーチはB登録としコーチ席には入れない。B登録者はコーチ席とは別の位置を設置する。
（5）出場選手は、各都道府県連盟が選出した代表選手であること。
（6）出場選手は、全空連公認段位または公認級位を保有していること。

15 出場費の納入・最終確認書の提出から、エントリー完了までの流れ
（1）別紙「出場選手情報の最終確認書」に記載の郵便口座へお振込みください。
※ 選手：８，０００円　　※ パーソナルコーチ：２，０００円
※納入後の返金は出来ませんので、ご注意ください。

（2）別途、参加選手の評議員へお送りする「出場選手情報の最終確認書」（５月１３日事務局発送予定）の記載内容を確認し、『訂正のある・なし』に関わりなく、〆切期日（５月２３日）までに事務局へＦＡＸ・郵送等でご連絡をお願いします。
（3）以降、下記「※出場申込の流れ」に従って、エントリーを完了させてください。

※出場申込の流れ
（選手）全空連**マイページ登録** ⇒ （選手）情報最終確認書提出（ＦＡＸ可）**５/２３必着** ⇒ （兵空連）出場申込５/２６（予定） ⇒ （選手）下記のＱＲコードより**大会エントリ承諾５/３０〆切** ⇒ （兵空連）選手全員の承諾確認 ⇒ （兵空連）全選手の最終承諾・完了

全空連マイページＱＲコード

＝＝＝ご注意ください＝＝＝
出場申し込みは県連で行いますが、大会出場者は、５月２８日頃～５月３０日の間に必ず全空連マイページより大会エントリ承諾を行ってください。

16　宿泊等　　(1) 宿泊・交通費は自己負担とする。

17　肖像権について
本大会は、大会の模様をインターネットのライブ配信を予定しており、観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。
（1）公益財団法人全日本空手道連盟及び関係機関が認めたライブ配信業者・報道機関等によって、撮影された映像が中継･録画放映及びインターネットにより配信または二次利用されることがある。
（2）インターネットのライブ配信に際して、個人情報（氏名、所属など）、大会記録等を公表することがある。
（3）本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。
（4）訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、当連盟の定める書面の提出又は当連盟ホームページからのお問い合わせフォームにより応じる。
（https://www.jkf.ne.jp/contactus）

18　そ の 他　（1）ゼッケンは主催者で作成し、７月中旬ごろまでに各都道府県連盟事務局あてに送付する。各連盟において出場選手に配布すること。その際、ゼッケンをしっかり縫い付けるように周知徹底すること。
（2）各コートでの受付（集合）時間に間に合わない場合は参加できない。
（3）当日欠席する選手が出た場合、監督が選手受付場所に、欠席届を招集時間までに提出すること。
（4）参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等にあたり、円滑な大会運営、事故防止に協力すること。
（5）転倒等の雑踏事故防止のため、入り口付近の混雑が落ち着くまでの間、（会場から約１時間程度）は館外に出ることができない。

19　問い合わせ先
問い合わせに関しては、県連事務局迄お願いします。

20　会場使用上の注意

（1）大会前日から東京武道館入口周辺にブルーシート等を貼って場所取りをすること、飲酒することは禁止とする。

（出場選手関係者の飲酒が発覚した場合は、所属都道府県役員及び関係者の入館をお断り させていただく場合があります。またコンクリート面へのガムテープの使用は禁止されておりますので、絶対に使用しないで下さい）

（2）大会当日に東京武道館敷地内ならびに周辺の公園等で練習を行わないこと。

（館外での練習は終日禁止）

（3）館内に靴を直で持ち込まないこと。

（靴袋は各自で準備し、必ず靴袋に入れてから入館すること）

（4）観客席及び練習場等に縄を張ったり、荷物等を置いたりして占拠すること、大会各日終了後に荷物を観客席に置いて帰ることは禁止とする。

（5）東京武道館周辺に一般車及びバスの駐車をすることは控えること。

（なおバスによる乗降の場所は綾瀬駅前を利用すること）。

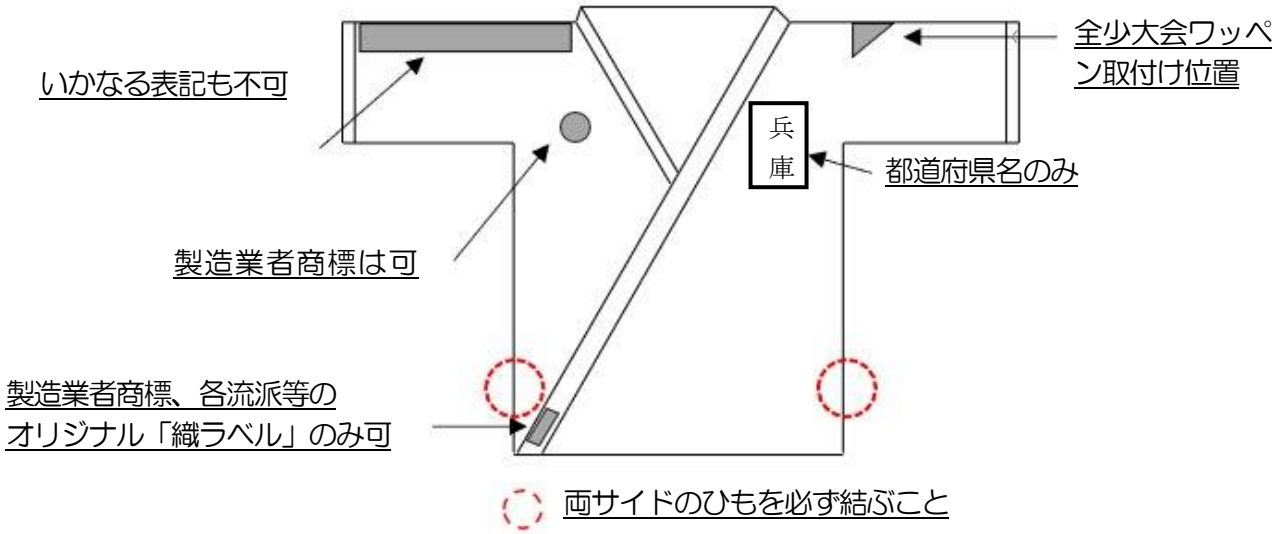
（6）館内通路等において、ブルーシート等での場所取りや座り込みを行うなど、救急搬送の対応や有事の際に安全な大会運営に支障をきたす行為を禁止する。

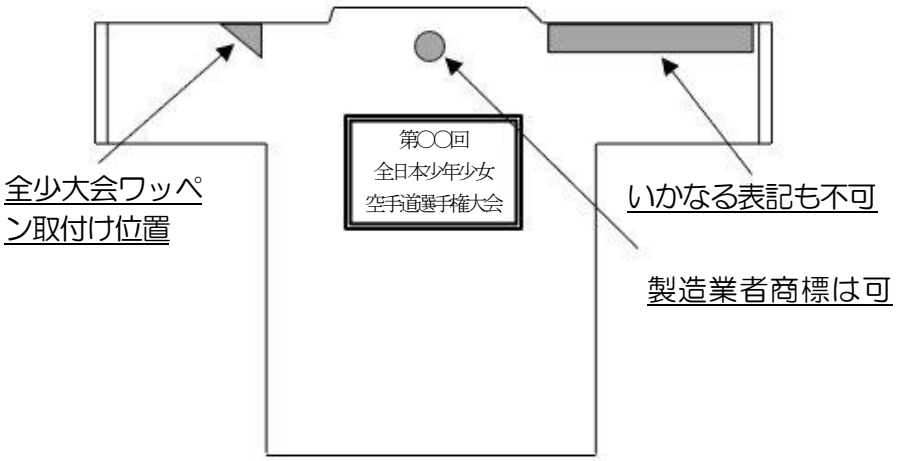
（7）観客席最前列の手すりに寄りかかり観戦することを禁止する。

●選手の服装について

1．参加章ワッペンについて
　ワッペンは「左肩口」に必ず縫い付けること。

2．空手着・帯について
　（1）左胸「都道府県名ワッペン」のサイズは「縦 15cm×横 10cm」。※所属先ワッペンなどは不可
　（2）氏名、都道府県ワッペン、参加章ワッペン、製造業者商標「織ラベル」以外の装飾は不可。
　（3）帯の刺繍は可。（刺繍糸の色は問わない）





【監督・コーチ・パーソナルコーチについて】

	監督	コーチ	パーソナルコーチ A	パーソナルコーチ B
入場可能人数	各都道府県１名	各都道府県１名	選手１名につき１名	選手１名につき１名
アリーナへの帯同	○		○（単独での入退場不可）	
練習会場への帯同	○		○（単独での入退場不可）	
表彰式への帯同	○			
コーチ席	○	○	○	×

●監督・コーチ―全選手のコーチ席に着くことができる

※アリーナへの入場は監督１名、コーチ４名までとする。

・監督１名、コーチ４名-コーチの権限を有する。

・その他登録コーチ―コーチ４名と交代することができる。

競技場、練習会場へ単独で入退場可能。

※但し、同都道府県の選手が残っている場合のみ。

表彰式への帯同可能。

競技の妨げがあった場合、アリーナからの退場を命じられる場合がある。

○パーソナルコーチ―登録選手１名に帯同できる。

A コーチ―コーチ席に着ける。＜競技規定違反等に抗議できる＞

B コーチ―アリーナ内での帯同のみ。＜コーチ席に着けない＞

競技場、練習会場への入退場可能。（１人での入退場は不可）

※登録選手とペアでの入退場。

表彰式への帯同可能。

競技の妨げがあった場合、アリーナからの退場を命じられる場合がある。

アリーナ内での携帯電話の使用は禁止とする。

（特に試合の写真及び動画の撮影は禁止）